

どうか飲酒運転が、
なくなりますように。



長野県 広瀬 ジュリアさん
平成25年度JA共済
全国小・中学生交通安全ポスターコンクール
文部科学大臣奨励賞 受賞作品

交通ルールを守ることは、子どもたちや家族、地域の笑顔を守ること。

例えば、飲酒運転。お酒を飲んだら、絶対に運転しない。運転する人には、
お酒をすすめない。仲間と飲酒する時には、ハンドルキーパーを決める。

“交通事故をなくしたい。”そんな想いで、

JA共済は、交通安全啓発に取り組んでいます。

地域のみなさまが、笑顔で安心して暮らせる社会をめざして。



<http://www.ja-kyosai.or.jp>

飲酒運転を根絶しよう



飲酒運転をしない、
させない

・飲酒した人に運転させない、
運転する人に飲酒させない。
・飲酒運転した人はもちろん、その同乗者、
車や酒類を提供した人も厳しく罰せられます。



ハンドルキーパーを
決めよう

・家族や仲間と車で飲食店などに行く場合には、
お酒を飲まない人(=ハンドルキーパー)を決めて
その人がみんなを車で送り届けましょう。



“二日酔い”での
運転はキケン

・一晩寝たら大丈夫、というわけではありません。
体内にアルコールを残したままの
いわゆる“二日酔い”の状態は、
安全な運転に支障をきたす恐れがあります。

監修：一般財団法人 日本交通安全教育普及協会